

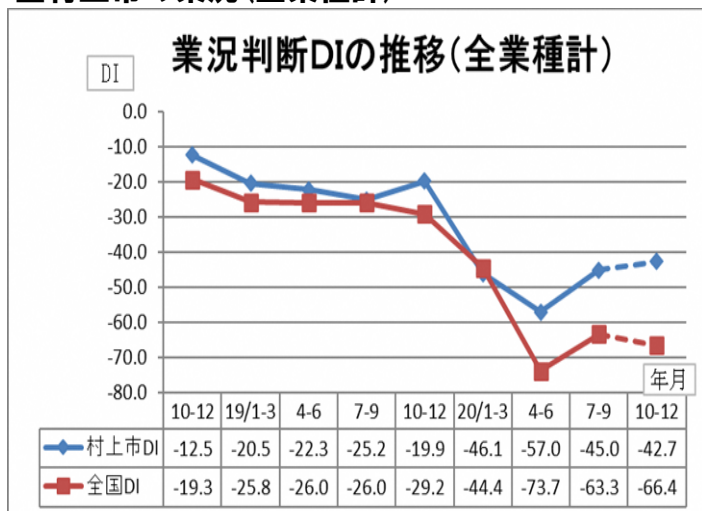


# 村上市 景況調査報告

〈令和2年7-9月期の実績・令和2年10-12月期の見通し〉

『新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況』

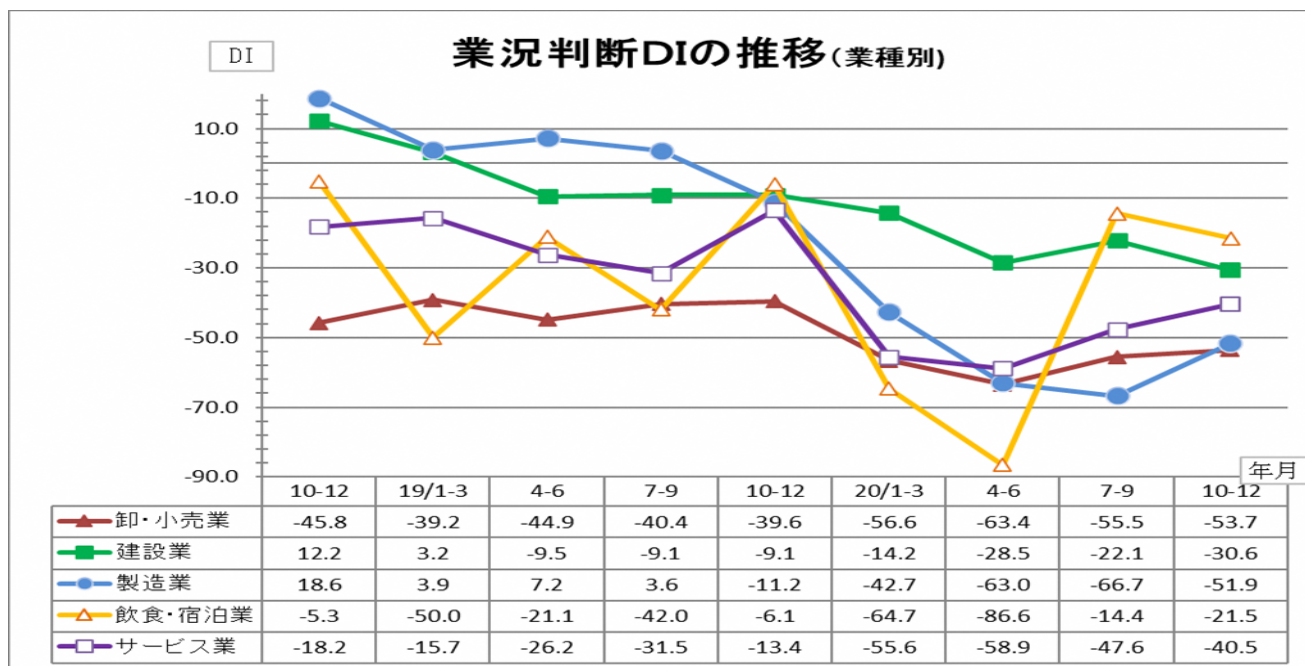
## ■村上市の業況(全業種計)



今期(7-9月期)の業況判断DI(全業種計)は、前期(4-6月期)と比べ12.0ポイント上昇し▲45.0となった。前期における今期予測(▲58.8)より13.8ポイント上昇し前年同月比では19.8ポイント低下した。全国DIは10.4ポイント上昇し▲63.3となった。

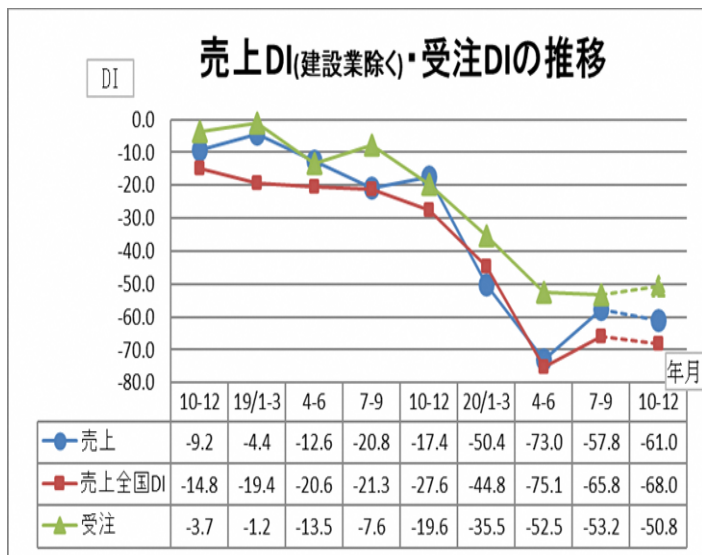
来期(10-12月期)については、2.3ポイント上昇し▲42.7となる見通し。全国DIは3.1ポイント低下し▲66.4となる見通し。

新型コロナウイルスの影響は引き続き大きいですが、業種別に見ると製造業以外で上昇したことから全業種計のDIが上昇に転じた。中でも飲食・宿泊業はGoTo企画や商品券事業など経済対策により大きく改善した。全業種計の全国DIを見ても同様に上昇する結果となった。



## ■各業種の動向

<b>卸・小売業</b>	家電小売業は補助金(新潟県の三密対策支援金等)を活用した事業者の利用で好調。食肉販売業は巣ごもり需要で好調。その他は祭やイベントの開催自粛という影響で卸小売業全体として厳しいコメントが多い中、村上市の観光客消費喚起事業(8月実施)やGo To トラベルの実施により、人の動きができたことで好評な感想もある。見通しとしては、今後のGo To企画に期待する声と先行き不安が継続することを危惧する声も多い。	<b>飲食・宿泊業</b>	宿泊業では夏の帰省客が少なく書き入れ時の売上を逃し、飲食業では団体での予約が少なく宴会も減少している中、村上市元気づくり商品券やGoToキャンペーンに助けられたというコメントが多い。見通しとしては、メニューを値上げした効果やGoToキャンペーンによる高い商品の売れ行きに期待する声が多いが、DIは減少する見込み。	
<b>建設業</b>	建設業全体としては、公共工事の発注が少ないというコメントが多い中、現在は受注が少ないが手持ち工事を順調に消化しているとのコメントも数社ある。見通しとしては、受注の見込みがなく不安を抱えている企業が多い。	<b>サービス業</b>	理美容業では少子高齢化に加えてイベントが無い事による外出機会の減少で利用頻度が下がっているとの見方。HP作成業は補助金(国の持続化補助金や市の販路開拓きっかけづくり事業補助金等)を利用した受注が大幅に増加。見通しとしては、コロナ禍により年内の改善は見込めないこともあり、『営業力を高め、コロナ対策をしっかりしてやれる事をやるのみ。』と前向きな意見もある。	
<b>製造業</b>	航空機業界は新型コロナウイルスの世界的な拡大により、受注が大幅に減少。印刷業ではイベント・広告関連の印刷物が激減。建築部品製造業では物件数の減少に伴う受注減少。見通しとしては、DIは上昇見込みだが現状が続くと見ている企業が多い。			

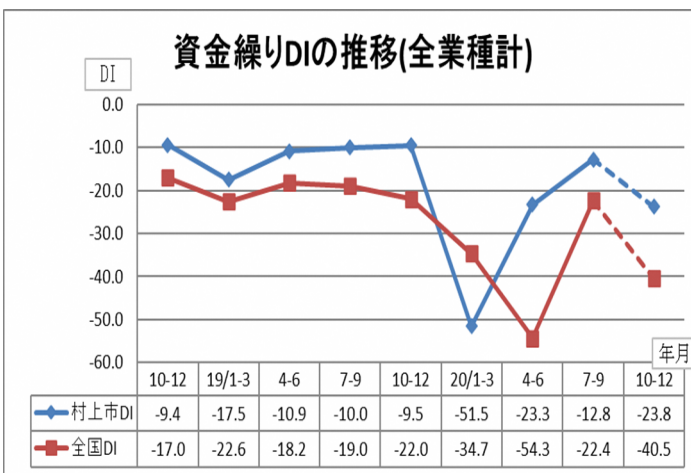
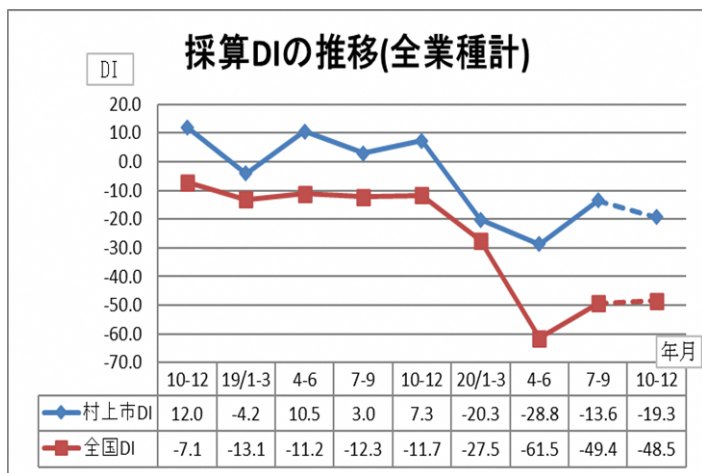


今期の売上DI(建設業除く)は、前期と比べ、15.2%上昇し▲57.8となった。前期における今期予測(▲81.0)より23.2%上昇し前年同月比では37.0%低下した。全国DIは9.3%上昇し▲65.8となった。来期については、3.2%低下し▲61.0となる見通し。全国DIは2.2%低下し▲68.0となる見通し。

今期の受注DI(建設・製造業)は、前期と比べ、0.7%低下し▲53.2となった。前期における今期予測(▲55.9)より2.7%上昇し前年同月比では45.6%低下した。来期については、2.4%上昇し▲50.8となる見通し。

【受注DIの内訳】

	前期	今期	来期
・建設業	▲31.5	▲44.5	▲48.5
・製造業	▲83.3	▲65.5	▲53.8

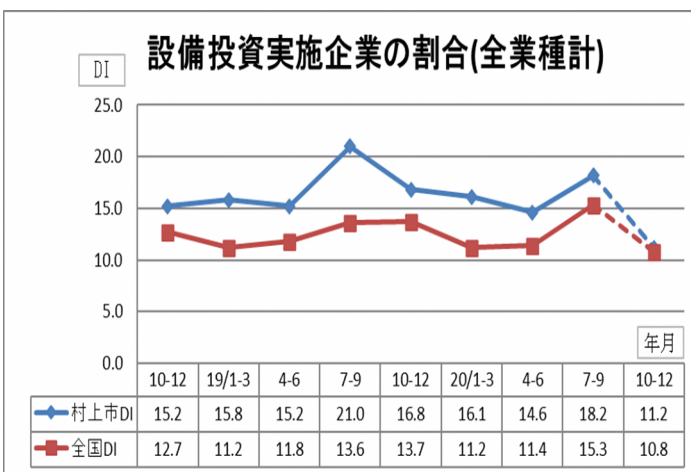
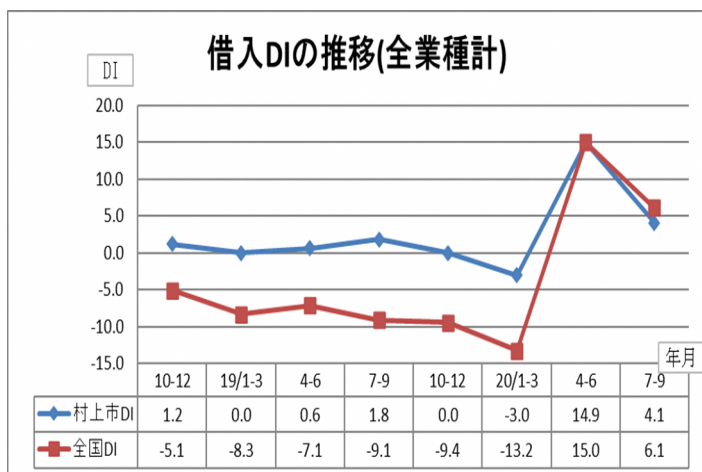


今期の採算DI(全業種計)は、前期と比べ、15.2%上昇し▲13.6となった。前期における今期予測(▲30.6)より17.0%上昇し前年同月比では16.6%低下した。全国DIは12.1%上昇し▲49.4となった。

来期については、5.7%低下し▲19.3となる見通し。全国DIは0.9%上昇し▲48.5となる見通し。

今期の資金繰りDI(全業種計)は、前期と比べ、10.5%上昇し▲12.8となった。前期における今期予測(▲32.0)より19.2%上昇し前年同月比では2.8%低下した。全国DIは31.9%上昇し▲22.4となった。

来期については、11.0%低下し▲23.8となる見通し。全国DIは18.1%低下し▲40.5となる見通し。



今期の借入DI(全業種計)は、前期と比べ、10.8%低下し4.1となった。全国DIは8.9%低下し6.1となった。

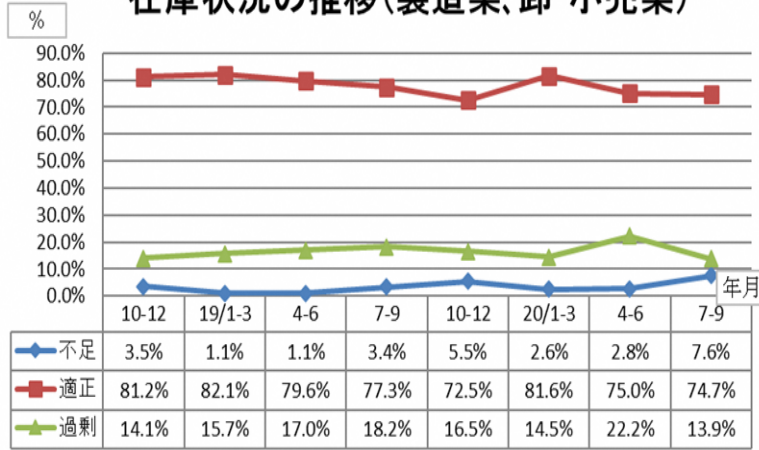
【借入DIの内訳】

	前期	今期
・容易になった	16.8%	→ 7.7%
・変わらない	33.5%	→ 33.3%
・難しくなった	1.9%	→ 3.6%

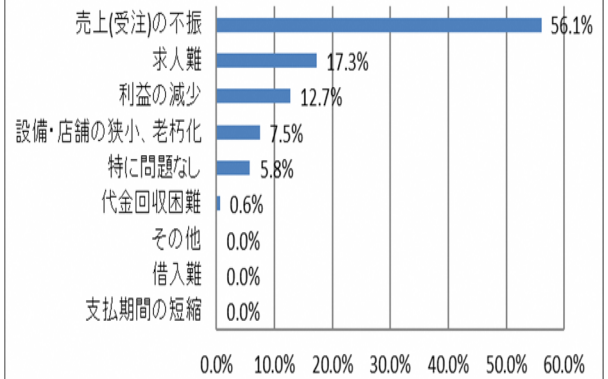
今期の設備投資実施企業の割合(全業種計)は、前期と比べ、3.6%上昇し18.2となった。前期における今期予測(14.1)より4.1%上昇し前年同月比では2.8%低下した。全国DIは3.9%上昇し15.3となった。

来期については、7.0%低下し11.2となる見通し。全国DIは4.5%低下し10.8となる見通し。

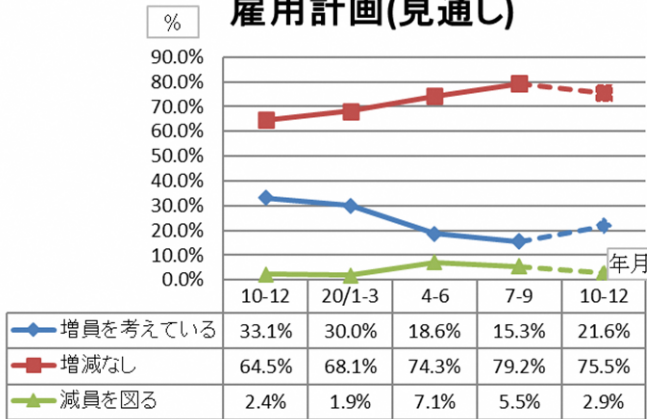
## 在庫状況の推移(製造業、卸・小売業)



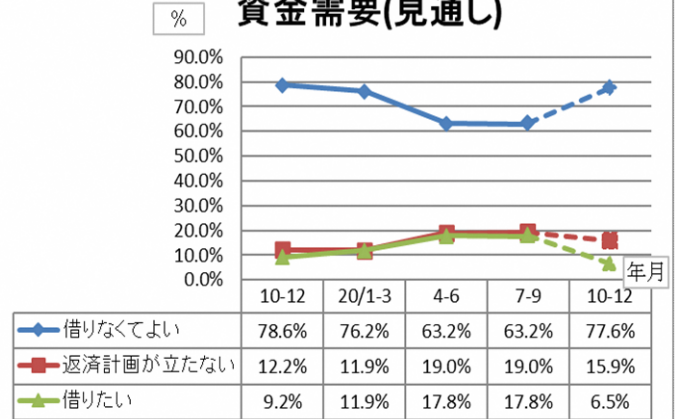
## 経営上の問題点



## 雇用計画(見通し)

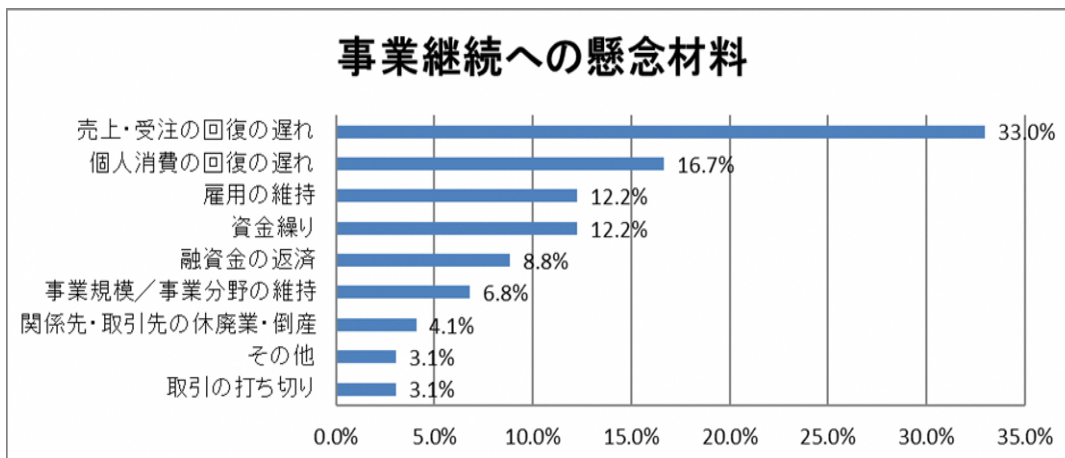


## 資金需要(見通し)



## ■経済活動が継続される中、事業継続上、不安に思う点はなんですか？ の質問に対する集計結果(複数回答可)

### 事業継続への懸念材料

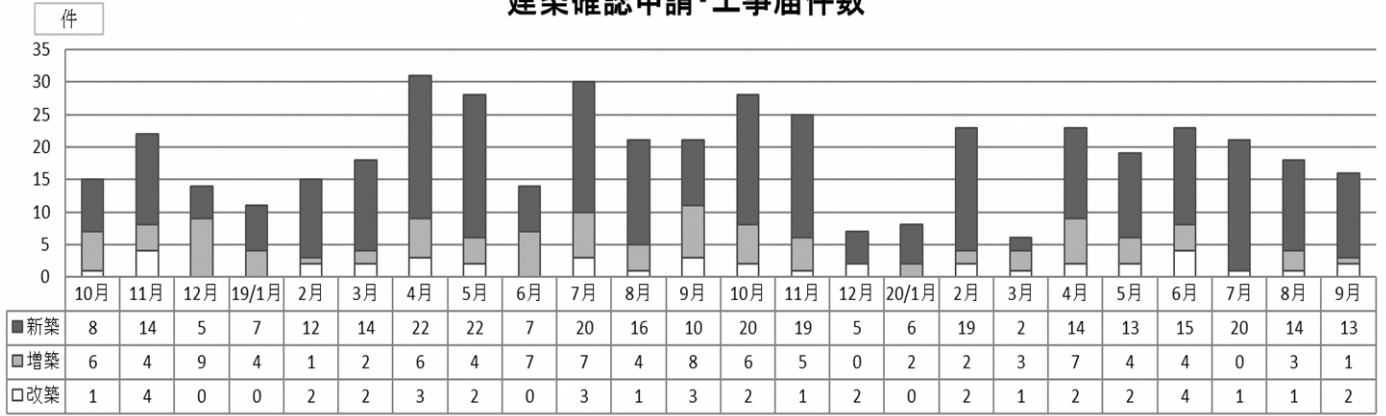


#### 【その他の具体例】

卸・小売業	事業主の体力、健康面、新鮮な農産物の不足による売上げの減少、地域の人口減
建設業	人材不足、国県市の予算がコロナ対策へ先行投資されたので新年度予算編成の際に公共工事や市民生活へ影響がないか心配
製造業	求人難
飲食・宿泊業	店舗の老朽化、新型コロナウイルス感染拡大の終息時期
サービス業	売上の減少

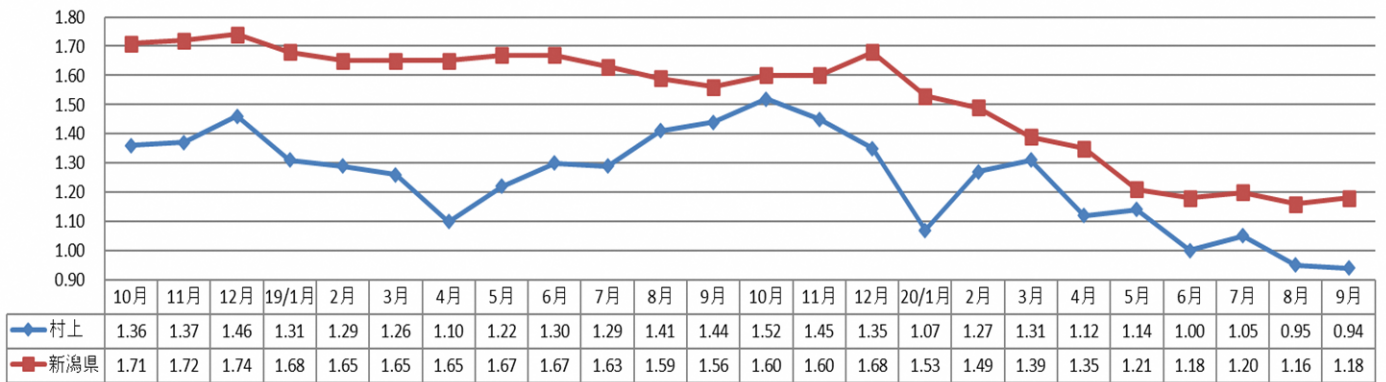


## 建築確認申請・工事届件数



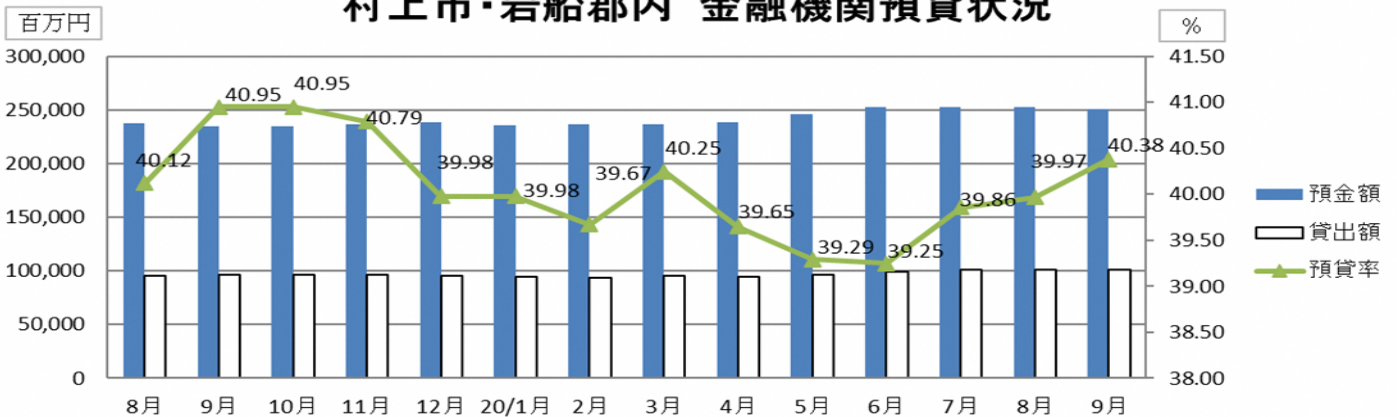
※本データは、新築・増築・改築の申請があった建築確認申請(民間受付含む)と工事届の合算となります。

## 村上職安管内 有効求人倍率(パートを含む全数)



※上記有効求人倍率は、季節調整値再計算により改訂した数値を記載しています。

## 村上市・岩船郡内 金融機関預貸状況



## 調査概要

調査時期	2020年9月中旬～2020年10月上旬
調査対象	村上市内事業所200社 有効回答数:173社(回収率86.5%) [業種] 卸売・小売業62社、建設業41社、製造業30社、飲食・宿泊業21社、サービス業46社 [地区] 村上地区104社、荒川地区33社、神林地区21社、朝日地区19社、山北地区23社
実施機関	村上市地域経済振興課、村上商工会議所、荒川商工会、神林商工会、朝日商工会、山北商工会
分析機関	村上商工会議所
参考資料	全国中小企業動向調査結果(小企業編)／日本政策金融公庫 (全国DI) <2020.7-9実績、2020.10-12見通し>

DI値(景況判断指数)=[増加・好転などの回答割合]-[減少・悪化などの回答割合]

(※売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味する)